



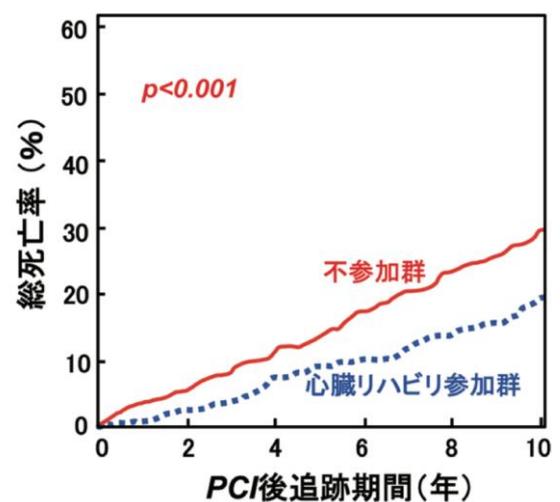
## Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

心臓リハビリテーションのすすめ  
~エビデンスの蓄積から普及に向けて~循環器内科 科長  
文責 島津 秀樹

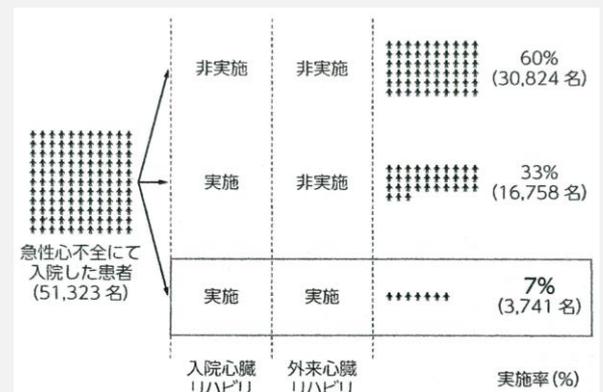
今回は心臓リハビリテーションについて改めてご紹介させていただきます。現在、心臓リハビリの適応は①急性心筋梗塞②狭心症（PCI後も含む）③心臓術後（冠動脈バイパス術、弁膜症手術、心臓移植など）④慢性心不全⑤大血管疾患（大動脈瘤・大動脈解離など）⑥末梢動脈疾患⑦経カテーテル大動脈弁置換術後（TAVI後）となっています。大動脈瘤・大動脈解離の手術後や閉塞性動脈硬化症も心臓リハビリの適応となることは意外と知られていないのではないでしょうか？『慢性心不全患者で死亡や入院が減少しQOLを含む健康状態が改善する（※1）』、『PCI後に心リハに参加した患者は不参加に比べて総死亡率が46%低かった（※2）』などに代表される様々なエビデンスの蓄積に伴い、最近では認知度も高まってきた心臓リハビリですが、本邦では入院患者に対する外来での心臓リハビリの実施率は7%程度であり、欧米（12~41%）と比較するとまだ低率です（※3※4）。医療保険の適応（適応期間:150日）の制限はありますが、当院では入院中の急性期から外来での後期回復期まで継続した心臓リハビリテーションを実施しております。心臓リハビリの適応となる患者様がおられましたら、ぜひ一度当院にご相談下さい。

※1 HF-ACTION randomized controlled trial.  
JAMA. 2009;301:1439-50.

※4 Prog Cardiovasc Dis. 2014;56:557-62



※2 Circulation 2011;123:2344-2352



※3 Circ J. 2019;83:1546-52

『心不全の心臓リハビリテーションU40世代のanswer』より引用

## スタッフ紹介 Vol.23



島津 秀樹

医師

循環器内科 科長

2001年九州大学卒

福岡県出身ですが、ご縁があって今年の4月から赴任してまいりました。名字から「鹿児島出身ですか？」と尋ねられることも多いですが、生まれも育ちも福岡県です。体の半分はとんこつラーメンでできていますが、関東への転居を機にラーメン摂取率を減らして健康に気を配りたいと思います。

過去のハートチーム通信はこちら →

